

弓道ながの

第78号

発行：長野県弓道連盟
会長 松島貞治
〒399-1801
下伊那郡泰阜村4139
TEL0260(26)2628
編集：県連広報部
印刷：(株)成進社

巻頭言

コロナ禍で思うこと

長野県弓道連盟副会長 山田雅亮



この度の役員
改選に伴い、長
野県弓道連盟副
会長に選任され
ました山田雅亮
でございます。
実績のある本会
の副会長を務めさせていただくには全
くの非力で、身の縮む思いではありま
すが、誠心誠意努めてまいる所存でご
ざいますので、ご指導のほどよろしく
お願いいたします。

昨今の話題と言えば新型コロナウイルス
イルス関連一色と言っても過言ではな
いような、危機的な感染拡大状況が続
いており、私たちの生命に直接関わっ
てくる切実な問題と捉えるべき段階と
なっています。その影響は既に世界中

に広がっており、文化活動の領域でさ
えも、行動様式の規制と変容が必要と
なっています。
平成二十四年、松本市総合体育館に
おいて「全国高校総体弓道競技大会」が
開催されました。「サッカー競技大会」
も松本市を中心にして同時に開催され
ましたので、松本市一帯は、選手・監
督や観覧・応援の人々で賑わっていま
した。競技会は、屋内に特設射場を設
けて実施しましたので暑さや天候に左
右されることもなく、滞りなく進める
ことができました。しかし、準備から
始まって長期にわたる実施期間の中
で、思わず頭を抱えてしまう問題も
多々ありました。参加選手にとっては
一生に一度の経験ですので、各選手が
持てる力を充分に発揮できるような環

境を整えようと心がけましたが、想定
外のこともありました。朝、会場入り
すると待ち構えていたように問題が持
ち込まれ、それを処理し終わると別の
問題が発生する、この繰り返しの日々
でした。

このような課題について検討し対策
を講じ、そして、乗り切っていくこと
ができたのは、係員の皆さんの尽力の
お蔭でした。正に時と場を心得た創意
工夫と実行力が、大会を成功裏に終え
ることができた大きな要因でした。更
に、高体連主催の大会とはいえ、弓道
連盟の諸先生方にも、役員や係員とし
て、又、物心両面において多大なご支
援をいただきました。弓道を通して、
あらゆる人々のお力に対する感謝の気
持ちをしみじみと感じることができ
た大会でありました。

現在、新型コ
ロナウイルスに
よって、全ての
スポーツ大会が
制約を受けてい
ます。武道であ
る弓道も同様で
す。感染防止と
いう足かせのた
めに、思う存分
弓道に没頭する

ことができないう状況です。そして、本
来なら弓道を通じて得ることができ
心の糧や弓仲間との心の交流も希薄に
なってしまうがちです。この原稿執筆
時、県内各地区では、全国大会出場を
目指して高校総体が始まっています。
選手も大会役員の先生方も、平時の大
会ではあるはずのないことを経験して
いることと思います。そんな異常な状
況の中にあっても、何かしら貴重なも
のを得られるような体験にすることが
できたら、コロナ禍に一矢を報いるこ
ともなるでしょうか。

感染が収束して、日頃一緒に稽古に
励んでいた仲間の皆さんと平常の稽古
ができる日が、一日でも早くやってく
ることが待たれます。





全国オンライン弓道交流大会に参加して 上伊那支部 馬場 絢音

今回、弓道大会がオンラインで行われると知り、いったい誰が出るのかなとそんな軽い気持ちで練習をしていた矢先、私の師である外蘭公毅先生から「選手よろしくお願いします」と連絡があり、よくわからないまま、「わかりました」と返答させていただいたのが始まりでした。

昨年からコロナの影響で国体などほとんどの大会が中止になってしまいました。オンライン大会の話を受けた時は久しぶりの大会に出られると思いきや、大変嬉しく思いました。と同時に長野県代表で、しかも前例のない第一回オンライン大会ということで困惑する部分もありましたが、大会に向けてメンバーと時間を合わせて本番を想定した練習を一緒に行ったりして、調整していききました。

オンライン大会当日は通常の大会と違い、カメラやスピーカーなどいつもと違う独特な雰囲気でした。また、今回はネットでの全国一斉生配信であった為、変な緊張感もありました。少し早めに会場入りし、ウォーミングアッ



プを入念にしたのでオンライン大会が始まるまでには少し緊張はほぐれていました。

試合が始まり、予選一回目は9中、

二回目は11中、合計二十四射20中で五位通過でした。まずは予選突破でき、一安心です。決勝トーナメントでは、一回戦目に石川県と対戦しました。長野県が10中、石川県も10中で一人一本ずつの競射になり、長野県が3中、石川県が2中で接戦のうえ長野県が勝ちました。準決勝では愛知県と対戦し11中対7中で勝ち、決勝へ駒を進めました。決勝戦では愛媛県と対戦し、長野県が二本外し10中、両チームの的中確認が終わるまで相手の的中がわからないので、ドキドキしながら結果を待っていたら、愛媛県12射皆中というアナウンスがあり、ああ完全に負けたな……と肩を落としました。

結果二位でしたが、普段から一緒に練習している仲間と勝ち取った二位なので、とても嬉しく思いました。退場した後には役員の方々や外蘭先生からよく頑張ったねと声をかけていただいた時は、外蘭先生が会長での最後の大会だったということもあり、優勝したかったという感情がこみ上げてきました。これからはプレッシャーがかかる



場面が今より多くなってくると思いますが、そのような場面でも必ず中てられる選手になりたいと強く思っています。この大会での経験がこれから繋がるように、より一層気合を入れて練習に励みたいと思います。

最後になりましたが、このオンライン大会に関わっていただいたすべての皆様本当にありがとうございました。

初めての試み

競技部長 内山 喜照

全国オンライン 弓道交流大会

湯澤理事長より全国オンライン大会の打診があったのは一月二十一日のことでした。全日本弓道連盟から大会実施に向けて調査依頼があり、各地連は任意参加のことでしたが、長野県は参加希望と回答いたしました。

問題は通信手段の確保でした。先行して行われた大学生の全国大会の動画を見ると、ところどころ音が飛んだり映像が止まったりしている場面があり、良質なネットワーク環境をどう維持するか、不安を持ちながら回答しました。理事長が有線LANの環境が整った弓道場を探してくださいました。が、適切なところがなくスマートフォンやタブレットの接続をすることにしました。該当する弓道場を探してくださいました。ありがとうございます。

機材として、Web会議Zoom用のPCを1台、そのPCにつなぐマイク



付きWebカメラとアンブレ付きスピーカー、記録入力用のPCを1台、タブレット兼LINEグループ通信用のスマートフォンを用意しました。Googleのアカウントも用意し、記録はGoogleスプレッドシートを使って全参加地連で共有して入力しました。オンライン大会事務局より詳細な手引きが示されていきましたので、ほぼそれに従って準備ができました。

大会当日は悪天候で、朝から雨が降っていました。長野県は予選Dグループになり、十一時三十分より一回戦を行いました。予選が始まった当初は一部でハウリングのトラブルがあり、会場での收音に神経を使いました。

自会場では他会場の音はスピーカーから聞こえてくるものの、自会場の音が会場にどのように流れているか

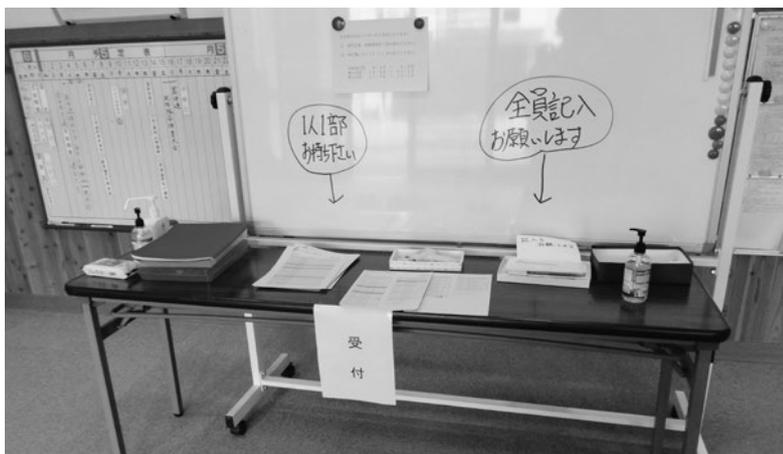
はわからないため、どんな大きさでどんな音が相手側に聞こえているか、気をつかいながら配信をしていました。風雨が強かったためマイクの感度を上げることができず、配信映像には的中音が流れていませんでした。映像を見て応援をくださった方々にはすぐに的中の結果がわからず、やきもきしながらの観戦だったと思います。申し訳ありません。他会場ではビニールのを使っている中音も拾っていたので、今後の工夫が必要と感じました。結果は既報の通り準優勝となり、外



菌会長を含む運営側も興奮しながら見守っていました。慣れない環境にもかかわらず粘り強く実力を発揮した選手を讃えます。選手、運営共に通信同時進行でのトーナメント、同中競射を体験し、オンライン大会の面白さを実感しました。コロナ禍で多くの人が集まりにくい今、多会場、少人数で対戦ができたことは、今後に向けてよい知見が得られたと思います。同時進行ができるため、予選の時間が短くて済むなどオンラインならではの短時間開催も有効に感じました。この先またどのような環境になるかわかりませんが、開催方法の一つとして可能性を感じています。会場を提供していただいた飯島弓道会の皆様に改めて感謝申し上げます。

全日本弓道大会 長野県大会

去る五月二日、長野運動公園弓道場にて第七十二回全日本弓道大会長野県大会を実施しました。これは令和元年までゴールデンウィークに京都にて行われていた全日本弓道大会が令和二年度は中止となり、令和三年度は各都道府県連盟における通



信大会として開催されることになったものです。四月二十四日～五月九日の期間で地連が指定する日に行うことになっており、長野県では五月二日に全ての種別を実施することになりました。

京都での全国大会は、有段者の部は四段以上でしたが、本年度は初段以上ということになりました。京都では参加できる人数に限りがあり、四段以上ということはやむを得ない

と考えますが、通信大会となって初段から参段までの選手にも門戸が開かれたことはよかったですと思います。近年の全日本弓道大会の参加費は五千円でしたが、今回は全弓連参加費千円、長野県参加費千円の合計二千円とさせていただきました。長野県の参加費は当日の会場使用料、競技役員費等に充てさせていただきます。

参加者を募ったところ、有段者の部四十三名、錬士の部十七名、教士の部十一名、合計七十一名の申し込みをいただきました。時勢柄、当日欠席となった方もいらっしゃいましたが、多くの方に挑んでいただきうれしく思います。特に有段者の申し込みが多く、やはり競技会への期待が大きいことを感じました。

開催に当たり、会場となった長野支部の皆様にご協力いただき、感染



拡大防止の対応を行っていただきました。入館時のカメラによる体温チェック、使用記録の提出など、参加者にもご協力をいただいています。

競技会運営も、有段者の部、錬士の部、教士の部を時間帯別に実施し、同時に集まる人数自体をできるだけ減らす工夫をしました。各支部長にもご協力いただき、事前に立順を公開することにより、混乱なく大会を終えることができました。改めて関係者、参加者の皆様に感謝いたします。

結果は別途報告をしていますが、有段者の部で競技四射的中(36cmの2中、24cm的2中)が最高成績でした。過去の大会では入賞に届くこともある成績であり、結果集計を楽しみに待ちたいと思います。なお、五月九日期限であった開催期日は、緊急事態宣言などで実施できない地域

もあったため七月まで延長となっています。地連によっては開催を断念したところもあるようです。長野県では実施ができ、また競技会からの感染拡大がなかったことをほっとしています。ワクチンが行きわたるまでにはまだまだ時間がかかり、予断を許さない状況が続きますが、一日も早い収束を願っています。



中央講習会

教士六段 亀岡 英司

令和三年五月九日、教士になって初

めての講習会に参加してきました。従来ですと指導者講習会と指導者育成講習会に分かれ、それぞれ地区ごとに二日間の日程で行われてきましたが、必要最低限に縮小しての開催となりました。過去に経験のない未曾有の事態の中、全日本弓道連盟も本講習会の開催にあたり大変なご努力をされてきたであろうことは想像に難くあり

ません。

今回は福島県から教士八段 高井幸子先生をお迎えし、講習を行っていたことができました。長野県と新潟県から各六名が参加、さらに午前と午後の部に分かれて実施しました。短時間とはいえ、これほどの少人数で受ける講習とは、なんと贅沢なことでしょう。

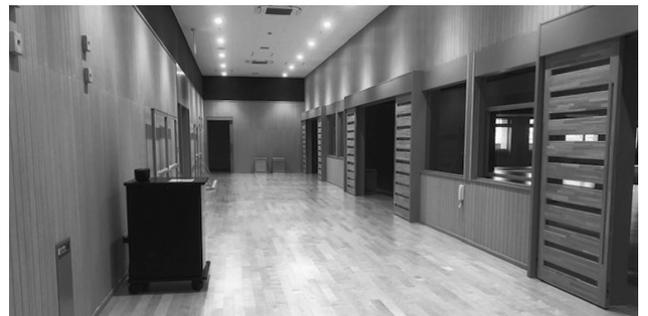
開会式、矢渡しなどを一切省略し、一つの射礼の講習からスタートしました。練習でき



なかつた期間が長かつたとはいえず、イメージ通りに足は出ない、体幹は保てない、合わせるのが精いっぱい、我ながら最低に近い動きをしてしまいました。当然のことながら、最初からとても濃密なご指導をいただくことになってしまいました。「間合い」「決めど

ろ」と、「見せる」「魅せる」ことが射礼のポイントというお話、まさにその通りだと思いましたし、それら一つもできなかったと反省しかありませんでした。トータル射礼研修を二回と射技指導を二回、射数としては通常の講習会とほぼ同じくらいでしたが、少人数だけに自分の苦手なところがしつかり露呈して、いい勉強になりました。なお、伝達事項につきましては、県の各地区伝達講習会で組み込まれることになると思います。

さて、今回の会場になりましたのは、新潟県上越市に昨年新設された「謙信公武道館弓道場」。駐車場わきに鎮座する謙信公像もさることながら、建物の外観からしてけた外れのスケールに圧倒されました。近代的な完成屋内の全天候型、併設の遠的場は矢道こそ屋根はないですが、両サイドが高い壁になっており、強い風の吹く当地の特徴を捉えています。今後の新潟県での北信越国体もここで行われる



と聞いています。数年前に伺った新しい彌彦神社の弓道場も大変立派ですし、近年の新潟県の弓道に対する熱量を感じます。最後に、一年以上も続くとは誰も想像できなかったこの状況、本当につらく苦しいですね。なにごともないかのように今年も咲いた山桜、いつもと変わらずそこにある八ヶ岳を見ながら、人類だけがそれに抵抗できずに大騒ぎしている現状に何とも言えない虚しさを感じます。まだまだ先の読めない状況ですが、皆さんで力を合わせてできることから少しずつ前に進んでいきましょう。



第72回 全日本男子弓道選手権大会 第54回 全日本女子弓道選手権大会 長野県予選会

期日：令和3年5月16日(日) 於：松本市弓道場

大会結果

北信越錬成大会代表選手 男子

- 1位 平澤 敏弘(飯 伊)
- 2位 清水 北登(須 高)
- 3位 亀岡 英司(南佐久)

北信越錬成大会代表選手 女子

- 1位 久保田智恵(長 野)
- 2位 高地美佐子(上 小)
- 3位 中田 美千(松 本)

※代表選手は第10回北信越錬成大会(福井県)に出場



弓仲間紹介

安曇支部 四段 相原 浩

還暦での転職で少しゆとりのできた私が妻と一緒に楽しめる何かを持ちたいと弓道教室に誘ったのが始まり。あれから丸六年間夫婦で楽しく励んできた。

まったくの下戸も。陽気なおしゃべりも寡黙なクールも。弓を軸として様々な人生を歩んでいる弓道バカともいえるお仲間たちである。

弓道のことは勿論だが、それぞれの人生観まで語りあうと実に学ばべき事ばかりだ。中にはそこから一歩も二歩も更に深いお付き合いとなつた方々もいる。

「弓道とは？」と常に自分に問いつつ、我が師と決めた荒川先生の「一挙手一投足、息遣い、眼の動きに目を凝らし、ほそつと漏らされる金言を心に刻むように心掛けてきた。諸先輩方のアドバイスも有難い。お陰様でやっとなりがあるが今日という日がある。



師弟や先輩後輩を縦の糸とすると、支部には様々な横の糸も満ちている。ある年の暑い一日の安曇野大会では「何かあっても医者から坊主までそろっているから」と冗談みたいな本当の話が出たが、仲間には様々な職業の専門家や芸術分野のプロもいる。底なしの吞兵衛も

も懲りずに次の竹弓作りを相談しているのだ)。さあ、このコロナ禍を乗り越え、老骨に鞭打ちながらもまだまだと希望を抱き、この支部の仲間たちと共に前に進んでいこう。

「竹弓を作ろう」と思わぬ体験もした。竹取りから始め、竹割、乾燥、火入れ、鉋掛け、削り出し、関板作り、接着し楔で成形：と足掛け三年。そして張り台にというところでバキツと無情の音。これまでの苦労、仲間の影ながらのアドバイスなどが一瞬にして泡と消え…なんてこともあった。

とはいえ「弓」は私の人の輪をふくらませ、生きる楽しみをふくらませてくれる(実はこれを書いている今も懲りずに次の竹弓作りを相談しているのだ)。さあ、このコロナ禍を乗り越え、老骨に鞭打ちながらもまだまだと希望を抱き、この支部の仲間たちと共に前に進んでいこう。



東京オリンピック 聖火をつないで

諏訪支部 市川 隆光

『弓道ながの』の原稿の依頼を受けるのは十年の国際弓術大会で優勝した話題以来となります。今回は聖火リレーに参加した内容とのもことでまたしても「弓道と真ん中」の話題ではなく恐縮ですが、コロナ禍で暗い話題が多い時節です。お茶請け程度の話になればと思いい引き受けました。

さて、大会等で入賞すると身近な方から「弓道もオリンピックあったらいいのね!」と言われます。私はいたいふわつとした返答をしていますが、実はオリンピックが大好き



です。小学生の頃の長野五輪時の五輪教育のおかげか、小・中・高・大と同級生や、先輩後輩がオリンピックアンになったりメダリストになったりしている影響かオリンピックが好きなのです。

そんな私にとって、「お・も・て・な・し」で印象に残る二〇一三年IOC総会での東京オリンピック開催決定は興奮の出来事でした。興奮と同時に「見るだけじゃなくて何とかしてオリンピックに出られないか」との思いがふつふつと湧き上がりました。冗談に聞こえるかもしれませんが、どうすればオリンピック

に出ることが出来るのか本気で考えました。……考え抜いた末、「今からオリンピック競技を始めるのは現実的ではない。聖火リレーはオリンピックの一部、そうだ! 聖火リレーなら一般公募があるはずだ!! 俺はオリンピックに出る」という答えに至りました。

目標は定まり二〇一九年六

月、いよいよ聖火ランナーの一般公募が始まります。応募は日本コカ・コーラ、トヨタ自動車、日本生命保険、NTTの各スポンサーの推薦と各都道府県実行委の五団体から選出されるチャンスがありました。ランナーは抽選ではないため、スポンサー推薦への応募に際しては自分が挑戦していること、取り組んでいることなどのPR作文が必要となります(自分がPRで

きることはやはり弓道でした)。五団体全てに応募し待つこと半年、年末にトヨタ自動車推薦で聖火ランナーとして走ることが決定しました(トヨタ自動車HPに挑戦内容を取材していただいたものが掲載されています。 <https://toyota2020.torch-relay.toyota.jp/runner/no11/>)。結果として弓道での活動が認められ聖火ランナーとして選ばれましたので間接的にでも弓道でオリンピックに係れたのかな?と広義の意味でとらえています。

目標を定めてから八年、聖火ランナー内定から一年延期を経て四月二日に地元諏訪市を走ることができました(走行する県は希望できますが走行市町村は希望できないため、地元を走れたことはとても幸運でした)。およそ



二分間・二〇〇mの走行でしたがオリンピックの聖火は私の手にありました。その時見たもの感じたものは一生忘れられない思い出となりました。ランナーは実際に使用したトーチを購入する権利があります(トーチのお値段は弓一張りほど)。もちろんトーチは私の手元にありますので、今後多くの方に見ていただければと思っています。

『弓道ながの』に掲載され弓友の皆様の手元で読まれるのは夏ごろと伺っております。今から数カ月後の世の中が「トーチ見せに来てよ!」と気軽に声をかけていただける穏やかな日常であることを願っております。その際にはぜひトーチを手にとっていただければ幸いです。

私と弓道

須高支部 小山 謙太郎

私が弓を始めたのは、友人の付き添いで須坂高校弓道部の見学に行った流れで入部したのが切っ掛けです。ただ、その友人は三日後には来なくなりましたが。その後、大学でも弓道部に入部しましたが、一年の終わり頃に何故か楽しく感じなくなり退部し、十年休んだ後で須坂弓道会と須高支部に参加させていただいて、現在弓を引いています。

弓道で一番記憶に残っているのは、高校時代の最初の「離れ」になります。当時は学生が多く、上級生の人数も多かったため、一年生には弓が足りないため、六月ごろまでゴム弓と少ない弓を使い回して練習していました。その頃、顧問の先生が棒矢を持ってきて、巻藁で引いてみるとおっしゃったので、躰を付けて引いてみました。矢を番えて引いたのはそれが初めてで、練習通りに会まで引いたところで、顧問の先生が「そこからバーンだ!!とおっしゃって、自分としては「バーンって何?」と



思いながら、思い切り大きく離れたところ、先生はニコニコしながら「良い離れだ」とおっしゃりながら戻っていかれました。

今考えると、私の離れの原点はこの経験なのかなと思います。講習会などでは早気でお叱りを受けることが多いですが、離れは少しだけ褒めていただけることもありそうですので、この時の経験が活かしているのかなと思います。

昨年からコロナの影響もあり、仕事はテレワークのため家からあまり出ない日々が続いて稽古もサボリ気味でしたが、昨年度から今年度に掛けて数名の国体強化選手が須高支部に移籍され、彼等の射を見る機会が増えたことが良い刺激になっています。自分も良い射ができるよう修練を積みたいと思います。

大会結果

全国オンライン弓道交流大会

○令和3年3月21日(日)
オンライン

団体の部

全国2位 長野県 蟹澤契太、馬場絢音、蟹澤史弥

令和3年度長野県勤労者弓道選手権大会

○令和3年4月4日(日)
塩尻市弓道場

参加人数・39名

個人の部

- 1位 井坪 大樹(泰阜村社会福祉協議会)
- 2位 小林 恒太(セイコーエプソンC)
- 3位 神通川浩一(セイコーエプソンB)

団体の部

- 1位 セイコーエプソンD(濱島伸太郎、町田真由美、内山喜照)
- 2位 セイコーエプソンC(保科茉袖、小林恒太、伊藤公二)
- 3位 長野県庁B(横澤志織、野知里信子、新倉公輔)

1位のセイコーエプソンチームは6月5日、6日に栃木県宇都宮市にて開催される第68回全日本勤労者弓道選手権大会に出場予定でしたが中止となりました。



令和3年度第68回飯田市民弓道大会

○令和3年4月29日(木・祝)

飯田運動公園県営飯田弓道場
参加人数・122名(高校生90名、一般32名)

個人の部

- ▲高校男子
- 1位 塚田 颯太(飯田B) 9中
- 2位 渡部 裕一(飯田B) 8中
- 3位 石川 詩庵(阿智A) 8中
- 4位 青山 慶汰(飯田A) 7中
- 5位 熊谷 海(松川A) 6中
- 6位 小林 純大(飯田C) 5中
- 7位 田中 滉稀(下農A) 5中
- 8位 松尾 裕貴(阿智B) 5中
- 9位 西郡 悠基(下農A) 5中

▲高校女子
 10位 岩本 瑞樹(松川B)
 5中

1位 内山 心結(飯田女子B)
 9中

2位 星 幸奈(飯田女子A)
 9中

3位 小室 葵(飯田女子A)
 9中

4位 齊藤 真虹(飯田女子H)
 8中

5位 宮脇 萌花(飯田女子A)
 8中

6位 岡田 彩渚(飯田C)
 7中

7位 菅野 雪菜(飯田女子J)
 7中

8位 矢澤 朋香(飯田B)
 7中

9位 手塚 海希(飯田女子D)
 6中

10位 棚田ほなみ(下農C)
 6中

▲一般
 1位 原 富子(上飯田)
 10中

2位 井原 寿恵(豊丘)
 9中

3位 松枝 敏広(豊丘)
 8中

4位 原 光晴(令和真誠)
 8中

5位 坪井 優(矢真飛)
 8中

6位 下平 春夫(上郷)
 8中

7位 常盤 浩(上郷)
 8中

8位 平澤 敏弘(矢真飛)
 7中

9位 松島 一夫(松尾)
 7中

10位 中村 健二(矢真飛)
 7中

■団体の部

▲高校
 1位 飯田女子A(宮脇萌花、小室葵、星幸奈)
 26中

2位 飯田B(男子)(塙友利、塚田颯太、渡部裕一)
 22中

3位 飯田B(女子)(鹿島瑠莉、矢澤朋香、大澤花穂)
 16中

▲一般
 1位 豊丘(伊藤千昭、井原寿恵、松枝敏広)
 23中

2位 矢真飛(中村健二、坪井優、平澤敏弘)
 22中

3位 上郷(常盤浩、下平春夫、藤澤敏子)
 22中

第72回全日本弓道大会 長野県大会

○令和3年5月2日(日)
 長野運動公園弓道場

参加人数・71名

有段者の部

演武参加者43名

0中 11名

1位 14名

2中 14名

欠席 4名

▲決勝射詰

0中 3名

1中 1名

2中 6名

3中 1名

4中 3名

3射目からは24cm的

▲演武参加者17名

0中 4名

1中 8名

2中 4名

欠席 1名

▲決勝射詰

0中 4名

■教士の部

▲演武参加者

0中 3名

1中 4名

2中 2名

欠席 2名

▲決勝射詰

0中 2名

全国での結果集計を行い、入賞者が決定されます。

第76回国民体育大会弓道競技 長野県二次選考会通過選手

○令和3年5月8日(土) 松本市弓道場

令和3年5月9日(日) 須坂市弓道場

▲少年男子8名

藤極 龍(上田千曲)

幸福 治(小諸商業)

畔上 広(長野日大)

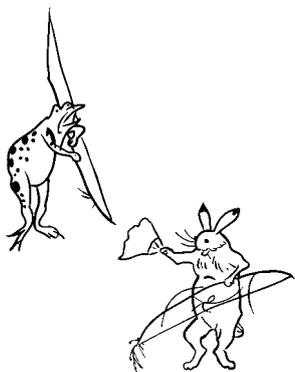
倉本 泰地(木曾青峰)

長瀬 良太(木曾青峰)

成田 拓未(松商学園)

宮下 悦輝(飯田OIDE長姫)

田畑 光唯(飯田風越)



弓道合宿予約随時受付中!

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
 12人立2ヶ所
 遠的道場 1ヶ所

帝産ロッヂ

〒384-1305
 長野県南佐久郡南牧村野辺山1003
 HP: <http://www.teisanlodge.com/>
 ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

▲少年女子10名

- 藤澤 綺咲(上田千曲)
- 宮下 結花(小諸商業)
- 竹内茉優花(小諸商業)
- 矢花さや香(長野日大)
- 峯村 桃子(長野日大)
- 松永 真衣(長野日大)
- 宮木 楓花(松商学園)
- 石井 澪(松本県ヶ丘)
- 戸枝 凜(伊那西)
- 宮坂 歩奈(諏訪実業)

▲成年男子10名

- 小田切祐典(須高)
- 清水 北登(須高)
- 藤森千友貴(上小)
- 林 貴徳(木曽)
- 岩原 祐貴(諏訪)
- 蟹澤 契太(上伊那)
- 蟹澤 史弥(上伊那)
- 保科 良介(上伊那)
- 岩村 拓生(飯伊)
- 中村 健二(飯伊)

▲成年女子5名

- 藤澤 敏恵(長野)
- 大山 綾(松本)
- 保科 茉柚(塩尻)
- 飯野 葵(諏訪)
- 馬場 絢音(上伊那)



第72回 全日本男子弓道選手権大会ならびに
第54回 全日本女子弓道選手権大会 長野県予選

○令和3年5月16日(日) 松本市弓道場
参加人数・32名

■北信越錬成大大会代表選手

▲男子

- 1位 平澤 敏弘(飯伊)
- 2位 清水 北登(須高)
- 3位 亀岡 英司(南佐久)

▲女子

- 1位 久保田智恵(長野)
- 2位 高地美佐子(上小)
- 3位 中田 美千(松本)

訃報のお知らせ(敬称略)

長野県弓道連盟 飯伊支部

教士六段 荒井 清(90歳)

令和3年5月13日(木)

ご逝去されました

長野県弓道連盟 上小支部

錬士五段 前田 幸雄(95歳)

令和3年4月23日(金)

ご逝去されました

ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせ申し上げます。

●●●●●
つづい



令和元年にこの欄で、目標に向かって頑張ると宣言して、その後どうなったでしょうか？ 実際審査や大会に目標を定めてスタートしましたが、昨年はコロナによる自粛と緊急事態宣言で公共施設の使用禁止が繰り返されて、弓道どころか日常生活まで制限を受け何もできず、今年に入り収束するのかと思いきや、その勢いは鎮まる気配さえありません。そんな中で我が家に家族が増えました。人間ではありません。三歳のマルチーズです。元々二頭飼っていたのが昨年一頭になってしまい、私たちも残された犬も悲しくてすっかり元気を無くしていました。が、訳あって里子に出されたその犬が、縁があって我が家に来たのです。もう成犬ですが、トイレもあちこち好き勝手にやるし、首輪もしたことが無いのでリードをつけて外に出しても怖がって一歩も歩けません。ご飯も人目を気にしてピクピクで、ケージの中で周りから見えないように覆ってやるとやっと食べられるような有様です。長いこと犬を飼っていますが、初めての事尽くして戸惑いもありますが、ほんの少しずつ慣れてきて、そのしぐさに一喜一憂しています。先の見えないコロナ禍で、犬達とのささやかな楽しみができました。残念ながら犬達と過ごす時間が増えた分、目標を立てたはずの弓は二番手になりつつあります。こんなことではいけません！ まだまだ頑張らなきゃ！

犬のしつけも私の弓も、乞うご期待、というところです。

中高支部 大塚利恵子